

山岳部通信 No.15

山岳部の紹介と活動状況をお知らせしていきます。

本年度は新型コロナウイルスのため、学校は前例のない年度末と年度初めに臨時休校(3月～5月)となり、さらには密を避けるため分散登校(6月)を行うなどの対応を行いました。

この影響から、高校総体(インターハイ)や甲子園での高校野球大会も中止となり、各予選の地方大会においても相次ぎ中止となりました。山岳部においても令和2年度の総体県予選、総体クライミング県予選等、1学期中に実施を予定していた各大会が中止となりました。

やっと7月から新入部員の勧誘や活動内容の見直しを図るとともに、『3密』に配慮した部活動の再開となりました。夏休みの開始は8月1日と遅くなりましたが、無事に夏休みを迎えることになりました。【例年の各大会についてはバックナンバーを御覧ください。】

今回の山岳通信は、**夏山山行**についてです。

本年度は新型コロナウイルス対策のため『3密』を避ける指針に基づき、テント泊や集団での炊事を自粛し実施することとしました。(本当はこのことこそが山岳部の醍醐味なのですが・・・(T_T)。

では今年の夏山山行で目指す『頂』は!?

日本一平均標高の低い千葉県で唯一『岳』の付く山が1つだけあるのです。何処だか皆さんわかりますか?

その『頂』は南房総市にある《伊予ヶ岳》という山です。

8月18日(火)

千葉駅に7:30集合(内房線3番線:最前車両の位置)

早朝より自宅を出発し各自しっかりと対応できていました。全員がマスク着用の姿で集合しました。

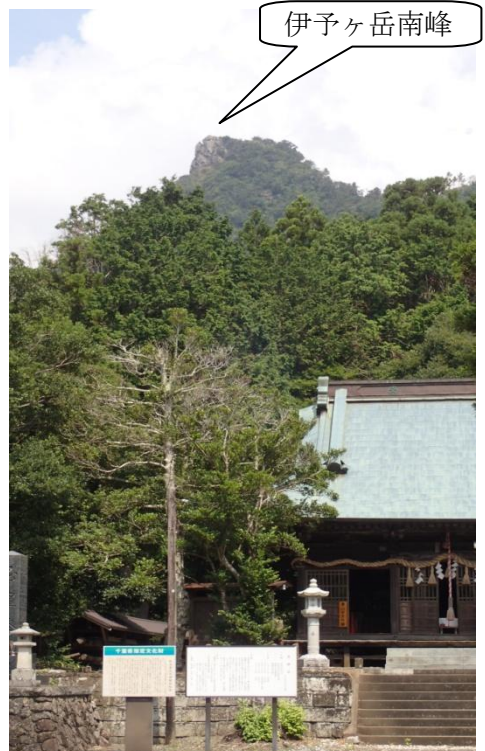
千葉発内房線(千葉7:45発)に乗りし岩井駅まで乗り換えなしで移動し、岩井駅下車後は南房総市の市営路線バス(富山線・トミー号)で移動となります。

この時間のバスは登山口手前のバス停(国保病院前)で折返し運転となります(運行時間により終点が変更となる)。その後登山口である約1.2km先の天神郷バス停まで徒歩にて向かう予定でしたが、国保病院での折返しバスに乗りする方がなく、運転手さんのはからいにより天神郷まで延長運航をしていただいた。

(スグーラッキー!!!なんとも田舎ならではの心遣いで運転手さんサンキュー♡)

天神郷バス停到着後時間的な余裕もあり、ゆっくりと身支度を整え予定通り10:25に登山を開始する。

序盤から結構な勾配であるが、林道や登山道はよく整備されており、なかなか歩きやすい道のりであった。しかし昨年の台風による爪痕は随所に見て取れた。登山道を整備された方々の苦勞を垣間見ることができた。



ほぼコースタイム通りに休憩ポイントとなる「あずまや」に到着。猛暑と低山山行の多湿状態，なかなかのハードさである。熱中症の予防から、「あずまや」でしっかりと給水と休憩を取った。

休憩後は伊予ヶ岳の核心部であるガレ場となり，フィックスの張られた勾配を慎重に1人ずつ登っていく。やはり千葉県に1つだけある『岳』の付く山である。ガレ場を抜けるとそこはすでに山頂となり，目前には「富山」東に「御殿山」を望み，一面見渡す限りのパノラマが広がった。あいにく湿度が多く霞みかかる天候から東京湾や富士山を望むことはできなかったが，なかなか良い景色であった。集合写真の撮影後，大休止（昼食）をゆっくり取った。

伊予ヶ岳は双頭山で，現在いるのは南峰(336.6m)，北峰(336.3m)には三角点があり国土地理院では北峰を伊予ヶ岳の山頂と記している。往復12～13分の距離なので希望者は北峰に向かい，南峰の景観を堪能した。

12:55に山頂を後に下山を開始する。フィックスを頼りにガレ場を慎重に下り，「あずまや」へ。緊張がほぐれ給水・休憩を取り13:30に登山口である平群神社へ出発。下りはペースも早く，14:00には平群神社へ到着した。

神社の軒下でバスの乗車時間まで着替え等を済ませた。（自販機の冷たいジュースがうまい！！）

14:41発のバスに乗りし，病院経由で岩井駅に到着する。岩井駅に15:20到着するも，岩井駅は内房線の南端路線に位置するため1時間1本の状況で15時台の電車はなく，岩井駅16:30発まで自由解散(10分前集合)とする。

予定通り16:30に岩井駅を出発し18:12千葉駅到着。ホームにて注意伝達後解散となった。（18:30解散）

今年の夏山は県内日帰りとなったが，来年はアルプス縦走の天空散歩が良いな(^_^)



北峰から南峰を望む

北峰の三角点